

KANAGAWA HOHYUH CLUB

神奈川県放友会



Newsletter

Vol.9 No.2 Apr.2016
第 34 号

神奈川県放友会

〒231-0033 横浜市中区長者町 4 丁目 9 番地

ストーク伊勢佐木1番館 501 号

TEL 045 681 7573 FAX 045 681 7578

発行人 長谷川 武

発行日 2016 年 4 月 1 日

参院選の挑戦者を支援しよう

神奈川県放友会 会長 長谷川 武

神奈川県放友会は、シニア世代の余力をささやかではあるが医療と福祉の向上発展に寄与すること、社会活動を行うことを目標として掲げています。

政府は景気回復政策を進めていますが、医療の進歩と医療費の増大、高齢化が進む老人介護保険等、多くの問題が山積みになっています。一方、各医療団体はこれからの医療・福祉政策の展望を見据え、薬剤師の6年制や特定看護師制度の導入、各医療団体での認定専門職制度等が、積極的な取り組みにより実現されています。

他職種団体の政策実現の背景には、「各団体の声を国政へ反映させる」団体設立の政治連盟活動があり、医師・薬剤師・看護師・理学療法士等の出身者が国会議員として活躍しているのです。

翻って、放射線技師職出身者は、三年前の参議院選挙に初めて自民党公認で全国区の参議院議員候補として立候補しましたが、この時は残念ながら落選でした。

その立候補者は、畦元将吾氏でした。日本放射線技師連盟の存在認識が薄かったのか、日放技組織の支援体制が不足だったのか、会員の認識不足だったのか…。おそらく全てが不足していたと思います。

現役を退いたシニアが多い神奈川県放友会は、長年の社会経験から現状の「診療放射線技師法の改正」を望んでいます。日本診療放射線技師会の対応も、技師法の改善に全力を尽くすために、その必要対策として国会議員選挙を学び、その布石を打っているのだと思います。

この7月の参議院議員選挙には、日本診療放射線技師会が取り組んでいる「放射線技師の声を国政へ反映させたい」を実現する為、診療放射線技師出身の候補者を再度推薦する準備が整っていると聞こえてきています。

今回、二度目の挑戦をすると聞き及び、神奈川県放友会としては組織の活動目的からも、期待を込めて支援したいと思うのです。夢を叶えて欲しいのです。

畦元氏のチャッチフレーズは「みんなが喜ぶ医療環境を」を前面に出し、政策提案を4項目掲げています。

- ① すべての人に最先端医療を
- ② 見落とさない技術で病気の早期発見
- ③ 診療放射線技師観点にたった法整備
- ④ ひとの心と体に健康な光を射る政治
特に、診療放射線技師職に深い認識を持っているので、

国民医療の中で診療放射線技師職の更なる活躍を望んでおり、「私たちの声を国政に反映させたい」と張り切っています。自民党公認者でもあり、チャンス到来です。

チーム医療の整備・医療機器業界の発展・患者さんの為の医療環境の実現に、職域代表として挑戦してほしい。仲間の立候補者の挑戦を、是非とも支援しましょう。

昨今は、放射線技師職の現在や将来を考えると、魅力がないと言われます。その一つに、国民は3.11の事故から「放射線」の言葉を嫌がり、医療被ばくについても敬遠が起きています。国民の被ばくに関する目は厳しく、医療被ばくの軽減対策、被ばくへの不安軽減の対策が急務です。

そのためにも放射線技師制度の教育改革が必要です。

現在の診療放射線技師教育には4年生の大学、大学院に進むコースもありますが、法律的な教育制度や身分保障が確立しておらず、社会の信頼性確保には不備があると言えます。

法律改正による医療人教育を受け、「放射線健康リスク科学教育プログラム」を終了した人材が出てくるように放射線技師教育制度改革を求めるべきでしょう。また、人口の減少、医療の進歩による検査機器の発達、検査の多様性等を考えると、現状の放射線技師の業務がいつまでもこのまま続けられるかは疑問です。

現実の問題では、今以上に患者さんや高齢者介護問題に接する役割等を考えないと、生き残れないのではと思います。再度「ケア・マネジャー」の受験資格が得られるよう、国への働き掛けが必要です。「放射線技師の声を国政に反映させる」不断のチャレンジが必要でしょう。

更には「放射線技師の声を県政や市政にも反映させる」ことも必要であり、放射線技師の活動範囲を地域医療向上と、放射線健康リスクの専門家としての担い手になり得る役割を背負うのも、職種としての課題の一つです。

「神奈川県放友会」は政党に拘らず、「放射線技師法改正及び地域医療向上」を積極的に考えてくれる議員なら何方でも支援したいものです。

「放射線技師の声を国政に反映させる」事を第一目標に、放射線技師出身者の「畦元将吾」日本診療放射線技師会理事を支援したいと思いますので、よろしくご支援をお願い致します。

平成 28 年度 神奈川放友会 総会資料

平成 28 年 4 月 9 日(土)の平成 28 年度総会開催にあたり、平成 27 年度に於ける会務及び平成 28 年度会務計画を報告して、総会資料といたします。

- [内容] 1) 平成 27 年度事業及び会計報告総括
 2) 平成 27 年度監査報告
 3) 平成 28 年度事業計画及び会計計画 (案)
 4) 理事の交代承認について
 5) 定款の一部改正について

I 平成 27 年度事業及び会計報告総括

組織活動のステップアップを図るべく会のリニューアルが行われましたので、改めての会員登録が実行されました。「神奈川放友会の仲間作り」を基本にした、社会活動を考慮した「神奈川放友会」の始まりでした。

先ずは、年会費徴収による会の運営実現であり、その源となる新会員登録数の促進活動でした。現在個人会員 73 名、個人賛助会員 3 名、団体賛助会員 1 社の登録を得ています。

社会活動等を目標にした執行部改変により、会員の情報交換と放射線に関する啓発活動を中心に、役員一同頑張りました。

その結果、「ホームページの開設」と機関誌「神奈川放友会ニュースレター」の一般広報活動に踏み切り、社会的な「放射線に関する啓発活動」の行動を始めました。また、「施設見学・小旅行・懇談会」の事業計画では、2泊3日の「函館観光と競馬観戦および函館放射線技師会表敬訪問」と「東京競馬観戦&参戦」「大磯、文学と政治・財界の歴史の町散策」及び放談会の開催を実行しました。

一方、「NPO 法人化への準備」事業は、検討準備委員会を設けて、焦らずに「NPO 法人神奈川放友会」を目指すこととしています。また、県技師会との共同企画では、県技師会の支援を得て「小規模医療施設での診断参考レベル (DRL) 取り組みの支援」を準備実行中です。

新役員も加わり、その熱意と奉仕を得て、着実に活動が実行されています。その活動内容を報告いたします。

ご討議を頂き、ご承認を頂きたいと思っております。

1. 会員数 73 名 賛助個人 3 名 団体 1 社 (2 月 27 日現在)

2. 会議

- ・総会 1 回 平成 27 年 4 月 18 日 (土)
- ・定例理事会 5 回 6/13 8/8 10/3 12/5 2/27
- ・臨時理事会 1 回 4/18

3. 放談会の開催 2 回

- ・ 4 月 18 日 紅音～akane～
 テーマ 神奈川放友会の活動を考える
- ・ 10 月 31 日 大磯「大内館」
 テーマ ・島崎藤村「1936 年以降晩年まで」
 講師：小松崎真一

・過去・現在・未来を語る

4. 事業活動

- ① 「神奈川放友会 News letter」の発行 年 4 回
 第 30 号 Vol.8 No.2 2015.04.01 A4 版 8p 100 部
 第 31 号 Vol.8 No.3 2015.07.15 A4 版 8p 100 部
 第 32 号 Vol.8 No.4 2015.10.15 A4 版 8p 100 部
 第 33 号 Vol.9 No.1 2016.01.15 A4 版 8p 100 部
- ② 講演会 参加者 20 名
 放射能汚染に対する安全基準—食品中の放射性物質の基準値— 講師 上前忠幸
 平成 27 年 5 月 23 日 アネックス集会室
- ③ 函館観光と函館競馬観戦&参戦
 及び 函館放射線技師会表敬訪問
 ○講話 競馬の楽しみ方 講師 橋口邦紘
 平成 27 年 6 月 19～20 日 参加者 9 名
- ④ 秋恒例の散策
 「大磯、文学と政治・財界の歴史の町散策」
 平成 27 年 10 月 31 日(土) 参加者 10 名
- ⑤ 東京競馬観戦&参戦 参加者 13 名
- ⑥ 神奈川県議会議員 合原康行 県議選支援活動
- ⑦ 横浜市市民活動支援センターへの登録

5. 会計報告

平成 27 年度会計報告

収入		予算額	決算額	増減
収入部	会費	140,000	47,500	-92,500
	雑収入 (寄付金等)	10,000	45,388	35,388
	の事業収益	10,000	23,361	13,361
	利息	100	0	-100
	収入合計	160,100	116,249	-43,851
支出		予算額	決算額	不用額
支出部	印刷費	30,000	20,688	9,312
	発送費	72,000	28,906	43,094
	会場費	5,000	1,000	4,000
	事務用品費	23,000	10,498	12,502
	会議室借用費	15,000	15,000	0
	会議費	10,000	0	10,000
	予備費	5,100	19,000	-13,900
支出合計	160,100	95,092	65,008	
収入決算額：116,249 円		支出決算額：95,092 円		
=21,157 円 (次年度繰越金)				

6. 役員

- 会長 長谷川 武
- 副会長 橋口 邦紘 早瀬 武雄 草柳 伸彦
- 監事 中村 豊 石渡 良徳
- 理事 村松 康久 小松崎真一 櫻田 晃

小嶋 昌光 斎藤 節 千葉 良助
 相談役 萩原 明 柳生 博

・各種委員会委員と担当理事

総務委員会 ○橋口 村松 斎藤
 編集委員会 ○早瀬 櫻田 小嶋
 企画委員会 ○小松崎 千葉 草柳
 渉外委員会 ○草柳 早瀬 橋口
 ホームページ運営委員会
 ○小嶋 早瀬 小松崎 長谷川
 NPO 法人検討委員会
 ○早瀬 長谷川 橋口 草柳 中村

II 平成 27 年度 監査報告

監事 中村 豊 ㊦

神奈川放友会定款第 15 条により平成 28 年 2 月 27 日に職務を実施したので報告する。

1. 会計監査

会費制を導入して初年度であるのか会費徴収が 34%と十分ではない。雑収入（寄付金）と事業収益で収入を賄うのは不安定である。支出では機関誌発送費、事務用品費、会議費の軽減に努力されている。来年度は会費徴収方法を検討されたい。

2. 会務監査

役員のボランティア精神による会の運営には敬意を表する。機関紙は予定通り 4 回発行され、内容の充実ぶりは、評価される。今後は「会員の声」など会員の意見が幅広く広報されるよう希望する。ホームページの開設は一般広報活動に大きな力を発揮すると思われ、その努力に敬意を表する。事業活動も活発に行われている。

NPO 法人化、小規模医療施設の DRL 取り組み事業は社会的信頼向上のために重要であるので、慎重に取り組んでいただきたい。放談会、施設見学等のさらなる企画や会員数の増加に努力されたい。

III 平成 28 年度 事業及び予算(案)

1) 事業計画

リニューアルして 2 年目になるので、社会活動を考慮した会の存続を促進するために、医療被ばくと原発事故に関連する放射線関連情報の啓発と「神奈川放友会の仲間作り」に重点を置きます。

社会的に評価・信用される組織活動を目指して、放射線に関する啓発のために、地域における講演会の開催を目指します。更に、本会の評価は機関誌であることを念頭にして、「神奈川放友会 Newsletter」については県民を意識した編集に心掛けます。

また、活動の原動力は会員の組織力が第一ですので、放友会の基本である「放談会」の活性化に努めるために、行動を共にしてくれる執行委員の発掘を心掛けます。

今年度の事業計画は、次の目標を置いて活動します。

- ① 「神奈川放友会 Newsletter」の発行（4 回/年）
- ② 放談会の開催
- ③ 地域における講演会の開催
- ④ 神奈川県放射線技師会の支援による共同企画
- ⑤ 神奈川放友会ホームページの更新
- ⑥ 施設見学・小旅行・懇談会の開催

2) 平成 28 年度予算(案)

平成 28 年度会計予算

収入		予算額	前年予算額	増減
収入の部	会費	77,000	140,000	-63,000
	雑収入（寄付金等）	10,000	10,000	0
	事業収益等	10,000	10,100	-100
	前年度繰越金	21,157	0	21,157
	収入合計	118,157	160,100	-41,943
支出		予算額	前年予算額	増減
支出の部	印刷費	25,000	30,000	-5,000
	発送費	35,000	72,000	-37,000
	活動運営費（会場費等）	10,000	5,000	5,000
	事務用品費	10,000	23,000	-13,000
	会議室借用費	15,000	15,000	0
	会議費	10,000	10,000	0
	予備費	13,457	5,100	8,057
支出合計	118,157	160,100	-41,943	

IV 理事の交代承認について

本田 義和 氏を新理事に提案します。
 また、千葉良助 理事の退任を報告いたします。
 定款第 14 条により、総会の選任を求めます。

V 定款の一部改正について

① 「第 1 条 この会は、神奈川放友会という。」を「この会は、神奈川県放射線友の会という。その略称を『神奈川放友会』という。」に変更する。

本会の正式名称を「神奈川県放射線友の会」とし、略称としてこれまで通り「神奈川放友会」と称する。

Vol.8 No.4 第 32 号の 7 ページにて広報している如く、ホームページ開設に当たって、トラブルを避けるために、名称変更を提案します。

② 第 3 条、第 5 条及び 15 条の語句の変更について

・第 3 条、第 5 条

「放射線の安全・安心」の啓蒙・・・を
 「啓蒙」→「啓発」に訂正する。

・第 15 条 4 号

「監事は、法第 18 条に規定する職務を行う。」を「監事は、本会の事業及び会計を監査する。」に訂正する。

③ 第 6 条 (3) に「「Newsletter 購読会員」、附則に会費 1,000 円を追加する。」

ベトナムの魅力 ホーチミン・フエ・ハノイ等をめぐって(Ⅰ)

早瀬 武雄 (会員 No 2)

平成 27 年 12 月、ベトナムは乾期の時期で、7 日間の旅行期間中雨に合わず楽しい旅でした。

東南アジアで治安が良く、経済成長の著しい国、そして、フランス支配の歴史、ベトナム戦争が強烈に記憶にあり、ベトナムの活気のある国に興味を持ちました。

ホーチンミン (南部)・フエ (中部)・ハノイ (北部) 等、国内線飛行機 2 回も乗り換え縦断してきました。

ベトナム社会主義共和国

- ・首都 ハノイ (人口 2014 年 4 月時点で、706 万人、最も人口が多いのはホーチン市の 795 万人) 民族構成 86% (ベト族)、その他に 53 の少数民族
- ・人口 約 9,170 万人 (2013 年)
- ・宗教 仏教、カトリック、カオダイ教他
- ・面積 約 33 万㎡ (日本の 88%)

南部のホーチンミンと北部のハノイは直線で約 1,200Km。この距離は日本では札幌・広島間とほぼ同じ。北部のハノイは日本と同じ四季がある。12 月は 10℃を下回る日もある。南部ホーチンミンは一年を通して日本の夏のような気温だ。12 月は、乾期の時期であり過ごしやすい。

ベトナムの歴史

ベトナムの史書によると紀元前 1000 年の中頃、紅河沿いに雄王 (フンヴォン) と呼ばれる王家が文郎国と呼ばれる国家を造っていたという。

中国は雲南から海に出る最短ルートとして、紅河の支配を望んでいた。この紅河デルタは西方との交易の重要な拠点となっていた。秦時代、漢時代・・・明の時代まで支配が続いた。その間呉朝 (ゴー)、丁朝 (ティン)、李朝 (リー)、陳朝 (チャン)、故朝 (ホー) が成立したが滅びている。

明は 1414 年から 1427 年まで支配し、ベトナム固有の言語や風俗などを排斥し、中国風を強制したので、人民は各地で蜂起し 1418 年に黎利 (シロイ) が決起した。黎利は人民の支援を得て 1428 年ベトナムを解放した。しかし無能な王が続いたため、諸侯の抗争が起き、南北に分裂し、北部は鄭氏 (チン)、南部は玩氏 (グエン) が実権を握り、約 200 年にわたって対立した。この時期の南部とは現在のフエ地方のことで、実際は中部地方を指す。玩氏は南進を続け、コーチシナ (フランス統治時代のベトナム南部に対する呼称) を獲得し、さらにカンボジアの一部を併合した。この頃、宣教師アレキサンドル・ド・ロードがベトナム語をローマ字で綴り、国語の起源となった。

1717 年南部の玩氏の末期に圧政、物価高騰等の不満から西山の 3 兄弟が蜂起し 1777 年に玩氏は追放された、昇龍 (タンロン、今のハノイ) に入城し南北を統一した

が、一族の対立から玩一族の玩氏 (グエンアイン) の巻き返しを許してしまった。

玩氏は、1788 年に中部ベトナムを奪回し、1801 年にフエを落とした。翌年昇龍に入城し、ベトナム統一を回復したが、この際、フランスの志願兵と宣教師の助力を仰いだため、この後のフランス進出を許すこととなった。



統一会堂 (旧大統領官邸)

1858 年カトリックの布教や西欧諸国を排絶する方向を選んだ玩朝を 1858 年にダナン (ツーラン) に砲撃を加え開国を迫った。その結果 1862 年にフランスと協定を結び、メコンデルタの一部の割譲とカトリックの布教を認めたが、地方官や農民の抵抗に遭ったフランスは、全土の直接支配を目指しメコンデルタ全域を併合した。1882 年、この結果、ベトナムはフランスの保護下におかれ、実質的に植民地化されてしまった。

第二次世界大戦の初期 (1940 年) フランスがナチスドイツに破れると、日本は北部ベトナムに進駐し、さらに翌年南部にも進駐した。日本がフランスとも協定を結んだために、ベトナムは日仏の二重支配を受けることとなり、双方が激しい弾圧と略奪を繰り返した。地下に潜っていた共産党は抗日・抗仏の武装蜂起を計画し、ベトナム独立同盟会 (ベトミン) を結成した。

日本の無条件降伏が決まると、1945 年 8 月 19 日、ハノイに蜂起が起こり、八月革命が始まった。さらにフエでも蜂起が起こり玩朝は完全に崩壊した。ポツダム宣言では、北部は中国が、南部はイギリスが日本軍の武装解除を行うことになっていたが、9 月からイギリスの支援でフランスの再侵略が始まり、翌年 2 月までに北緯 15 度線以南が平定され、フランスの支配下となり、これから長い南北分裂と南部解放政策が始まることとなる。



来遠橋 (日本橋)

1593 年
ホイアンに住む日本人が建造したと言われる屋根付きの橋

日本診療放射線技師会理事

「あぜもと将吾」 自由民主党公認で参議院選挙出馬

地域医療の向上と放射線技師の将来を託しましょう。



プロフィール

広島県広島市生まれ 広島山陽高校卒業
1980年 国際医学総合技術学院(現・岐阜医療科学大学)卒業
1980年 広島市民病院勤務
1985年 横河メディカルシステム株式会社入社
1993年 東邦大学医学部 放射線医学第二講座研究生
1999年 株式会社AZE代表取締役社長
2001年 広島県立大学非常勤講師
2004年 東邦大学医学部客員講師
2013年 自民党参議院比例区支部長現在に至る

政策

- ・すべての人に最先端医療を！
- ・診療放射線技師観点にたった法整備を！
- ・見落とさない技術で病気の早期発見！
- ・ヒトの心と体に健康な光を射る政治！

紹介

「あぜもと将吾」氏は、日本診療放射線技師会理事として技師の将来そして国民の医療と福祉の向上のため、日々活動されています。

今回、「診療放射線技師の声を国政に届ける」ために参院選で自民党の比例代表候補として出馬することになりました。

私たち診療放射線技師は将来に向けて、地位向上を目指し、今、国の目指す地域医療ケアシステムのスタッフとして大いに貢献し活躍できる法的整備の必要性を感じています。

「診療放射線技師の声を国政に届ける」活動は、我々の地位向上につながることであり、更なる積極的な取り組みが重要です。

「あぜもと将吾」氏の「直接国政に声を伝える」機会を是非とも実現させ、「国政の場」でコ・メディカルのために活動して頂きたいと願っています。

幸い、全国で「あぜもと将吾支援する輪」が拡がりを見せています。私たち、神奈川放友会会員の皆さんにも、この機会に、診療放射線技師会及び日本の医療問題に取り組んでいる我々の仲間、「あぜもと将吾」氏の想いをご理解頂きたく紹介させて頂きました。

ご支援よろしく願いいたします。

神奈川放友会

会長 長谷川 武

日本診療放射線技師連盟神奈川支部長 草柳 伸彦

山あらしのジレンマ(変化の時代を生きるには)

福田 利雄(会員番号 11)

新年を迎えるため、否、終活のため・・・本棚を整理し、古い資料、書籍等多く処分した。懐かしく読み返しながら作業したためか多くの時間を要した。そんな中、ある一枚の原稿に目が止ったのである。「山あらしのジレンマ・・・」私のはるか昔に書いた原稿です。読み返してみても、我ながらうまく書いているなと思った次第です(笑)。暇つぶしに読んで見て頂ければ・・・。(スキャン画像につきご理解下さい)

山あらしのジレンマ (変化の時代を生きるには)

神奈川県核医学研究会 代表幹事

福田 利雄 (東海大学病院)

『ある冬の日、寒さで凍てつきそうな体を暖め合おうとしている山あらしのカップルがいた。お互いが近づけば近づくほど、その意に反して自分のとげで相手を傷つけ、自らも傷つけられてしまう。逆に離れれば離れたで、寒さに耐えられなくなる。』

2匹の山あらしは、何度か近づいたり、離れたりを繰り返したあげくに、お互いを傷つけないで済む、ほどよい距離を見つけて、暖め合うことができるようになった。』

この話は、ショーペンハウエルの寓話から引用した。このカップルの動作は、「山あらしのジレンマ」として、人間社会での人と人との距離のとり方の大切さ、むづかしさを教えてくれているだけでなく、人それぞれが持つ特性の理解のためにも、大きな手がかりを与えてくれるものである。

なぜ、このような話を持ち出したのかというと、それは現代において“間”のとり方が以前にまして重要になってきている、といたいからである。ご存じのように、現代社会の進歩は実に目まぐるしく、激しく変化しているが、それに伴って従来の価値観も大きく変わってきている。このような状況はいたるところで既存のルールの混乱を招いており、今まで明確な境界をもっていたものが、非常にあいまいになってきた。この結果、人と人との距離感覚を見失って、ジレンマに陥る人もでてくる。

お互いが近づきすぎて傷つけ合い、ぼろぼろになった親子の姿が、家庭内暴力として見うけられ、また職場に充満しつつある「しらけの現象」は、上司と部下あるいは同僚との「間」のとり方を見失って、心のバランスを崩し、精神の健康を損ねた結果の現実の姿といえよう。

人間関係をとりわけ大切にする日本的なしくみの中で、この関係に無理なく溶け込めるかどうかは、その人が生活している領域や立場のいかんにかかわりなく、その人の生涯を左右する大切な要因のひとつである。

多様化し過密化した現代社会は、型にはまった画一的な人間を過去のものとして、時代の隅に押しやってしまった。そして、それに代わり、それぞれの個性を声高に主張する人々を次々に生みだして、人間関係をより複雑なものに変えてしまった。こうした人の変化に伴って、人との対応の仕方や導き方に新しい手法が求められてきているのは当然の成りゆきであろう。

早いもので、神奈川県核医学研究会の代表幹事、事務局を引き受けて、もう2年が過ぎようとしている。その間多くの人と接してきた。そして、なんとか無事に会務を遂行できたのも、その人達が“本音とたてまえ”を上手に使い分け、ほどよい「間」で接してくれたからにほかない。今後、核医学をはじめ、医療の分野に多くの若い人たちが従事してくることは間違いのない事実である。我々中年は、「最近の若い者は・・・」と嘆く前に、彼らと我々は価値観が違うのだという意識を持って、前述したごとく、ほどよい人と人の「間」というものを身をもって教え、社会に適應できる優秀な人材を育成することが課せられた役割であろうと考える。また、若い方には、自己中心的な考えでは、この変化の激しい時代を生きることが非常に困難であるという自覚を持っていただきたい。

これからの研究会活動には若い力が必要不可欠である。会の運営に携わる者として変化の時代に対応した内容、企画でのぞみ、若い方に参画していただき人間形成のひとつの場として更に充実させてゆきたい。皆様のご協力をお願いするものであります。

最近、テレビで知った一言

『 前に・・・ 』

明治大学ラグビ部北島監督

常に、この精神で物事に挑みましょう。

みんなの広場

■ 日本診療放射線技師会理事 参議院選挙に出馬

畦元 将吾氏 自民党公認で出馬

日本放射線技師連盟神奈川支部からの情報によると、日本診療放射線技師会理事 畦元将吾氏 が7月の参議院選挙において、全国比例区で立候補する。

■ 神放技と放友会「会長・副会長懇談会」を行う

1月16日日(土)PM1:00より技師会事務所において会長・副会長の懇談会が設けられた。放友会の事業活動を理解され「小規模診療施設における診断参考レベル(DRL)の調査活動」について、神奈川放友会の活動を神奈川県放射線技師会が支援することが決まった。また、7月参議院選挙への対応についても意見交換があった。

■ 公益社団法人 神奈川県放射線技師会

役員立候補の選挙公報

公益社団法人神奈川県放射線技師会の役員立候補に関する選挙公報が、3月号の「かながわ放射線だより」に選挙公報として掲載される。

投票日及び開票日は5月27日(金)開催の定時総会。

■ 日本初の新元素 113番「ジャポニウム」有力

理研が発見、国際認定へ

理化学研究所が合成した原子番号113番の元素が、新元素と国際的に認定される見通しになったことが1月25日、関係者への取材で分かった。国際学術機関が来年1月にも決定し、日本が発見した初の新元素として理研に命名権を与える方向で最終調整している。発見を争ったロシアと米国の共同研究チームを退けて認定される見込みで、科学史に残る大きな成果となる。

元素は、物質を構成する基本的な粒子である原子の種類のこと。未確定を含め118番まで見つかっており、米露などが国の威信をかけて発見を競ってきた。アジアによる新元素の発見は初めてになる。

新元素の名称と元素記号を提案する権利は、発見チームに与えられる。113番の名称は日本にちなんで「ジャポニウム」が有力とみられ、関係機関の承認を得て決定される。

■ 甲状腺がん 罹患率の「数十倍」を発見

東電福島第一原発事故後、福島県が18歳以下の子どもを対象に実施している県民健康調査で、県の検討委員会は2月15日、甲状腺がんを確定した子どもが100人を超え、全国罹患率の推定を「数十倍多い甲状腺がんが発

見されている」との中間まとめが大筋で了承されている。

放射線の影響については「考えにくい」と評価はしているが、「現段階で完全に否定できない」としている。

検討委は疫学、がんの専門医ら有識者で構成されており、健康調査は2011.10~2015.04に於ける受診者約30万人の検査結果です。全国罹患率では2人程度とされるが、一巡目で100人が「がん」と確定し、15人が「がんの疑い」とされている。

放射線の影響を考えにくいと評価する理由には、①チェルノブイリ事故に比べ被ばく線量が少ない ②当時5歳以下からの発見がない ③県内の地域別発見率に大きな差が無いなどを挙げている。

中間報告の「まとめ」は、3月中旬に正式に決める方針だとされている。

2巡目の検査は2014.4から始まっているが、昨年末現在、一巡目では「がん」「がんの疑い」と診断されなかった16人が「がん」と確定。35人に「がんの疑い」があるという。

放射線の影響は否定的であるというが、健康調査の正式発表が待たれる。

■ 「核農学」植物の中を見る

がんの診断法の一つに、放射性物質を利用して腫瘍を見つける陽電子放射断層撮影(PET)検査がある。同じように植物でも放射性物質を目印に使えば、様々な物質が植物の中を移動する様子を見ることができ、農作物の栽培技術の開発などにつながると期待されている。

PET検査では、放射性のブドウ糖を含んだ薬剤を注射、この薬剤から出る放射線を特殊なカメラで映像化する。がんは糖を取り込む性質があるため、腫瘍が映し出される仕組みである。

植物も同じく、放射性物質を水に混ぜたり、気体にしたりにして吸収させれば、栄養分などがどう移動するかを追跡できる。

日本原子力研究開発機構の藤巻秀グループリーダー(植物栄養学)は、こうした研究でPETなどを使う「核医学」にならった言い方で、「核農学」と呼ばれます。

- ・植物内部の栄養や汚染物質の動きを見る
- ・ナスの実の成長に貢献していない葉はどれ?
- ・稲の放射性セシウムの吸収メカニズム等の研究

■ 重力波 世界初観測 宇宙誕生のなぞに光

一般相対性理論の正しさを改めて裏付け

物理学者のアインシュタインが100年前に予言した「重力波」を探索している米マサチューセッツ工科大など、米国を中心とした国際研究チーム「LIGO(ライゴ)」は12日未明、宇宙からやってきた重力波を初めて直接観測することに成功したと発表した。重力波の存在を予言したアインシュタインの一般相対性理論の正しさを改めて裏付けると共に、宇宙誕生のなぞや、光や電波では観測できない天体現象の解明に期待がかかる。

会告

平成 28 年度 神奈川県放友会総会のお知らせ



平成 28 年度 神奈川県放友会総会を下記の通り開催することを告示する。

神奈川県放友会 会長 長谷川 武

開催日 平成 28 年 4 月 9 日(土) 12:00 ~ 12:30

開催場所 桜木町ワシントンホテル 5 階 「BAYSIDE ドルフィン」の部屋
(JR 桜木町駅東口 駅前) tel 045-683-3266

総会議事



1) 開会のことば

2) 会長挨拶

3) 議 題

第 1 号議案 平成 27 年度事業及び会計報告

第 2 号議案 平成 27 年度 監査報告

第 3 号議案 平成 28 年度事業計画及び予算案

第 4 号議案 理事の交代

第 5 号議案 定款の一部改正

4) 閉会のことば

平成 28 年度 神奈川県放友会「放談会」のお知らせ

愉しく寛ぎながら 絆を生む至福のひとときを一緒に！

歓談テーマ 1 日本診療放射線技師会理事 あげもと 将吾 氏 ビジョンを語る

2 余暇の過ごし方

開催日 平成 28 年 4 月 9 日(土) (総会終了後、同一会場)

開催時間 12:30 ~ 14:30 会食費 4,000 円

会員以外の方も参加できます。

参加申し込み先 Tel 04-783-9454 橋口 まで

平成 28 年度 事業案内

恒例の東京競馬場観戦&参戦

日時 5 月 15 日(日) 8 時 30 分 JR 府中本町駅 改札口集合

参加費 3,000 円

※申込締切は 4 月 30 日です。 詳細については Tel 045-783-9454 橋口 まで

編集後記

今回の 34 号は総会特集号として編集しました。

放友会設立は 2007 年(平成 19 年)11 月 17 日で、今年は 9 年目を迎えています。

Newsletter の編集も定着してきましたが、会員の皆さまからの投稿をもっともっと掲載しなければならないと思っています。投稿をよろしくお願いたします。

総会の出席と放談会への参加で大いに語り合いましょ。

編集担当 櫻田 晃 小嶋 昌光